

なおみ

理念

私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

安全・信頼・連携・地域密着

「信頼され、選ばれる病院を目指して」

新年の御挨拶

医療法人 正観会 御野場病院
院長 三浦 邦夫

2大政党時代から多党乱立の選挙の末、政権交代があり安倍総理が誕生し、尖閣諸島の問題や北朝鮮のミサイル騒動という国際問題で終わった平成24年が明け、新しい年を迎えました。去年は、爆弾低気圧や猛暑に悩まされましたが、新年は大雪で、地球がどうなっているのかと考えさせられます。

院内に目を向けると、去年は病院機能評価合格ではじまりました。機能評価のおかげか病院は前にもましてピカピカです。また病院内を改造し通所リハビリテーションをはじめました。おかげで病院の収支も向上しました。

さて、病院は今年創立35周年を迎えます。しかし、建物内部はそんなに時間がたったとは思えないほど傷んではいません、これも職員一同の努力のたまものと思われま

す。ところで秋田県の100歳以上の人口は475人ですが、当院に入院している患者のうち、101歳の方が2名、100歳の方が1名、99歳の方が2名いらっしゃいます。今年中には100歳以上の方が5名となり、全県の100歳人口の1%の方がこの病院にいらっしゃるようになります。これは当院が高齢者にやさしい病院で



あることを示しています。

病院はこれから在宅医療、つまり往診や訪問リハビリにも力を注ぐという方針を持っています。そのためにはそれをバックアップする院内の体制を整えなければなりません。具体的にはまだ構想の段階ですが創立40周年を迎えるころには今後の病院の進むべき道が示されると思われます。

ところで、毎朝の除雪で気がついたのですが、雪には色々な種類があるようです。湿った重い雪、フワットした軽い雪などその時の気候の条件で変わるのでしょうか。これからの医療も、周りの医療情勢や、保険制度など状況を見ながら変化しなければならないと考えます。今年1年

皆さんと一緒に頑張りたいと思います。



新年あけましておめでとうございます。
先ず以て、この年が患者さん、利用者さん、地域住民の皆さん、そして職員の皆さんにとって、幸せで充実した一年でありますことを祈ります。

念頭にあたり医療法人正観会として今後の経営目標について大まかに述べさせていただきます。

先ず短中期的には、昨年も述べたように「在宅医療支援病院」に認定されたことを踏まえて在宅医療に力を注いでゆく。寝たきりをなくし、ADLの向上維持を目標に、昨年11月通所リハビリを開設、更に今年1月からはこれまで細々とやっていた訪問リハビリにもっと力を注ぐこととした。24時間訪問診療については、秋田往診クリニックと連携して行っていたが、自前でも行うことができる目鼻が一時ついたようにも思われたが、今一步のところで留まっている。なんとか、24時間体制の在宅医療にもっていきたいと考えている。そうならば、地域密着病院として、地域住民の皆様により良いサービスを提供し、安心して生活できる環境づくりの一翼を担うことができることになる。

中長期的には、御野場病院は創建来今年で35周年を迎えることとなった。これまでご支援くださった利用者の皆様、地域住民の皆様には、心から御礼を申し上げたい。

病院の建物は、修繕をこまめに行ってきたので年数がたつわりには古くは見えない。しかし、医療の進歩、保険制度の改革などにより医療機器の進歩、職員数の増加などがあり、病院全体が手狭となり、このままでは時代の流れに取り残されてゆく感が否めない。

今年は隅々巳年であるが、5年後までに「新しい御野場病院」に脱皮するための青写真を本格的に描いてゆきたいと考えている。それは、利用者の皆さんと職員の想いが詰まったものでなければならないと思う。

さあ、職員の皆さん、「医療機能評価」受審の時のことを思い出してみてください。苦しかったけれどもやり遂げたではないですか。もう一度あの時の達成感を味わってみようではありませんか。それぞれの立場で知恵を出し合って「新しい病院」創りをしようではありませんか。

多職種連携の力

小林 佳 美

当院が回復期リハビリ病棟を立ち上げて8年になります。おかげさまで少しずつ地域からの需要も増え、開設当初は32床だった病棟は、看護・介護体制を強化しつつ41床に増床し、5人だった療法士も今では24人と充実してきました。また、H22年にはリハビリ専門医の三浦医師を迎え、診療レベルも向上しました。

ところで、回復期リハビリ病棟は、一般病棟に比べどのような特徴があるのでしょうか。

その名のとおり、急性期治療を終えた回復過程の患者さんの機能回復を目指す病棟であり、入院される方の多くは脳梗塞等の脳血管疾患や、骨粗鬆症を背景とする高齢者特有の骨折疾患を持つ患者さんです。しかし、病名が同じでもリハビリ患者さんの抱える問題は1人1人違います。障害の程度や発病前の運動能力、合併症、家族構成、生活習慣、人生観等により、当然リハビリの目標やアプローチも違ってきます。

経口摂取ができさえすれば、ショートステイを利用しながら自宅で療養が可能になる方もいます。居住スペースの間取りや段差、デザインなど物理的なハードルが高い場合もあります。それまでは当然の如く自己注射していたインスリンを、今度はいづ誰が注射するのか。夜間頻尿や夜間多尿に対し、患者さん1人で対応可能か。ご家族はどこまでなら介助可能か。ご家族の負担を軽くするにはどうした方がいいか。自宅へ退院する前には、そういった課題を一つ一つクリアしていく必要があります。これは医師1人が治療できるものではなく、療法士1人で解決できる問題でもありません。

回復期リハビリ病棟では、こういった個々の問題を、医者や看護師だけでなく、理学療法士や作業療法士・言語聴覚士といった療法士、介護士、社会福祉士、管理栄養士、時には薬剤師など、多

職種が患者さんやご家族に直接関わり、それぞれの視点から問題点をより明確にかつ具体的に拾い上げていきます。そして多職種が一堂に集まり、定期的なカンファレンスの場で短期目標、中期目標をたて、それぞれの立場から問題点を解決しつつ最終目標に近づけていきます。

退院前には、更にケアマネージャーや居宅サービス担当者も交えて家屋調査やカンファレンスも行います。このような多職種連携の『チームアプローチ』こそが回復期リハビリ病棟の力であり特徴であると思います。

当院の『職員全員の顔が見える規模』であることは回復期リハビリ病棟を運営する点でのメリットだと感じています。総務部門に「こういった物品が必要だけど準備できないだろうか?」とか、栄養科に「こういう食事を作って貰うことはできないだろうか?」といった相談が容易であり、どの部門も迅速に検討し対応してくれます。こういったフットワークの軽さは、この規模の病院ならではのものと感じています。もちろん予算の許す範囲内の対応ではありますが。

急性期の医療技術が目覚ましく進歩し、専門性の高い高度な技術や合理的な手法が次々確立していく一方、横のネットワークを広げながら患者さん1人1人にアナログ的な個別プログラムで対応する当病棟が担う役割も大きくなっていると感じています。

「まさかこんなに元気になれるとは思いませんでした。」「ここを紹介して貰って本当にヨカッタです。」「と言ってくれる患者さんやご家族の言葉を励みに、今後も地域から必要とされる病棟を目指したいと思います。



御野場病院在宅ケアセンター

デイサービスセンター

こんな時、ご相談ください。

- デイサービスって何をするとところだろう?
- 心身機能の維持・回復をはかり、豊かに生活していきたい。

■ 営業日／月曜日～土曜日（祝日営業・年末年始休業あり）
■ 営業時間／午前9時20分～午後3時50分
■ 定員／50名

訪問看護ステーション

こんな時、ご相談ください。

- たとえどんな障害や病気があっても、自分が一番いたい場所で、一番そばにいてほしい人に囲まれて過ごせたら…。
- 実際に家庭で療養生活や介護することになってしまった。
- 現在介護しているのだけど…、どんなふうにしたらいいか不安。

■ 営業日／月曜日～金曜日（祝日を除く）
■ 営業時間／午前9時～午後5時
■ 24時間連絡体制あり

介護支援センター

こんな時、ご相談ください。

- 在宅介護に関して相談したい。
- 福祉用具の利用を考えているがどうすればいいだろう?

■ 営業日／月曜日～金曜日（祝日を除く）
■ 営業時間／午前8時45分～午後5時30分
■ 介護認定申請代行もいたします。

ホームヘルパーステーション

こんな時、ご相談ください。

- 調理、掃除・洗濯、買い物など生活全般にわたる援助をしてほしい。
- 食事、外出、排泄、入浴などの身体介護をしてほしい。

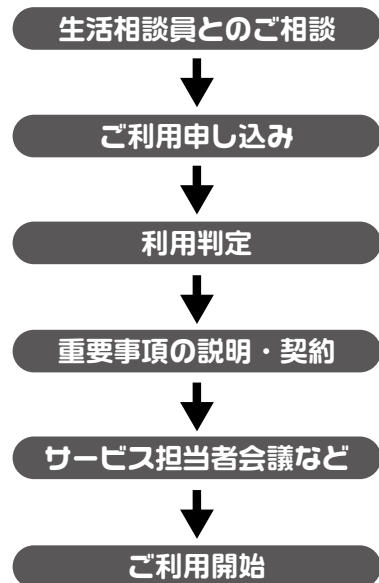
■ 営業日／日曜日～土曜日
※ 但し、土・日は主に身体介護サービスとなります。
■ 営業時間／午前7時～午後8時

通所リハビリテーション開設のご案内

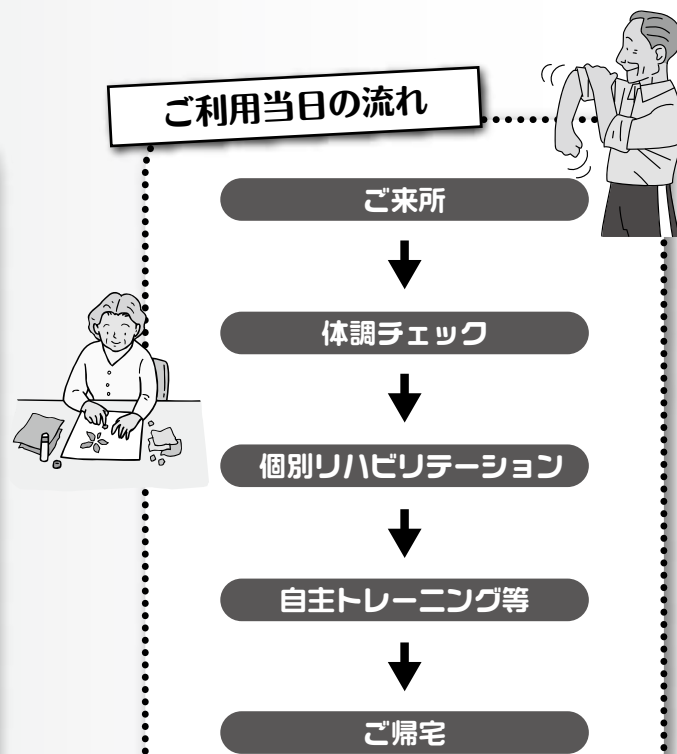


昨年11月より開所いたしました!!

ご相談からご利用まで



ご利用当日の流れ



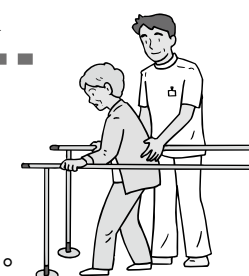
御野場病院通所リハビリテーションとは

「安全・信頼・連携・地域密着」の理念のもと、要支援・要介護者に対し専門のリハビリスタッフによる個別リハビリテーションを行うことにより利用者の自立支援の援助、心身機能の向上を図ることができるよう支援します。



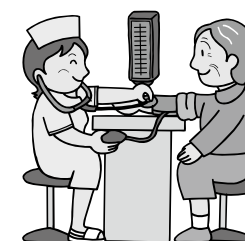
御野場病院通所リハビリテーションの特徴

- 1～2時間の「介護保険」を利用した短時間のリハビリテーションです。
- 病院での外来リハビリテーションが対象外の方も利用できます。
- 理学療法士等専門スタッフの指導が受けられます。
- 入浴・食事サービスは提供せず、リハビリテーションのみに特化しています。



サービス内容

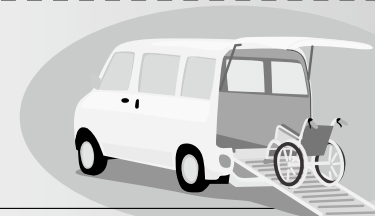
- 体調チェック(血圧測定・体温測定・脈拍測定など)
- 個別リハビリテーション(専門のリハビリスタッフによる個別指導)
身体機能評価・機能向上を目的としたリハビリテーションの提供
筋力トレーニング・運動療法・物理療法(必要な場合のみ)
日常生活動作訓練
- 自主トレーニングの指導



※入浴・食事サービスはありませんのでご了承ください。
※送迎については個別にご相談ください。

営業日

月～金曜日 午前 9:00～12:00
午後 13:30～16:30



お申し込み方法

要支援・要介護認定を受けている方…ご担当のケアマネージャーにご相談ください。
介護保険サービスが初めての方…お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

〒010-1424 秋田市御野場二丁目14-1 御野場病院通所リハビリテーション
TEL 018-839-6141 FAX 018-839-6662

※お気軽にご相談ください。(担当:石垣)



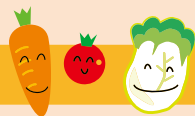
すまいる ほいくえん

院内保育所の開設から1年半がたちました。
現在は12人の園児が楽しい毎日を送っています。

先日行われたクリスマス会では、ドキドキしながら手遊びや劇を発表し、サンタさんや理事長先生からのプレゼント、また、クリスマスランチに大喜びの子ども達でした。



栄養科より



今回は、12月の『夕食会』と『茶話会』についてご紹介します。

12月といえばクリスマスですね！クリスマスを感じてもらえるような料理を提供しました。

夕食会では、星形のハンバーグにホワイトソースを雪に見立て、ホワイトクリスマスを演出してみました。体がぽかぽか温まるように、野菜たっぷりのポタージュもご用意しました。



茶話会では、クリスマスケーキをご用意しました。味が異なる3種類のケーキは、患者様に大変喜ばれました。いつもは白衣姿の栄養士も、この日はサンタクロースの帽子を被り、患者様にクリスマスケーキをお届けしました。

まだまだ寒い時期が続きますが、体も心も温かくなれるような、おいしい料理を提供していきたいと思います。